

想いを形に、あたたかな学びの場を



■ 佐沼高等学校 新校舎等改築工事

明治35年の創立以来、県北地域の中核として多くの人材を育んできた宮城県佐沼高等学校。その校舎改築工事に携われたことを誇りに思います。同校の「人格の形成と学問の探究を校風とし、文武両道の精神のもと豊かな人間性と創造性を育む」という教育方針に深く共感し、生徒の皆さまが安心して学び、成長できる環境づくりを目指し伝統ある学び舎にふさわしい施設を実現するため、安全と品質を最優先に、元請および関係各社と協力しながら施工に取り組みました。



工事概要

建物用途：高校

建築面積：4,070.80m²

延床面積：7,658.53m²

構造種別：【普通教室棟】RC造、一部S・SRC造

【東棟】RC造、一部S造



東北支店 建築統括部 建築工事部

宮城営業所 ムカイスチール

主任 山崎 穂（勤続19年）東北学院榴ヶ岡高校 卒

2024年7月から約1年間、「佐沼高等学校 新校舎等改築工事」にて、外構工事を含む鉄筋工事を担当させていただきました。今回の現場では、普通教室棟がSRC造・RC造、東棟が円形のS造と、複数の構造が混在しており、特に構造の取り合い部では精度と品質の確保に苦労しました。現場では何度も検討を重ね、細部まで確認を行うことで、安定した品質を確保することができたと思います。また、敷地内には既存の学校施設や記念樹があり、資材搬入ルートやクレーン設置位置が限られるなど、作業環境にも多くの制約がありました。さらに、他業種との工程調整も難航しましたが、元請職員や協力会社の皆さまと連携し、チーム一丸となって一つひとつ課題を乗り越えてきました。その結果、無事故・無災害で工事を終えることができ、工事に関わることができたことを誇りに思います。今後もこの経験を生かし、より良いものづくりと信頼される現場づくりを目指して努力していきます。

東北支店 建築統括部 建築工事部

宮城営業所 热海康太朗班

職長 鈴木 博（勤続34年）東北電子専門学校 卒

この工事は宮城県の県北地域の教育の中核となる「佐沼高等学校 新校舎等改築工事」となります。私がイメージする高校生時代の校舎はRC造で長方形、色はグレーで冷たいイメージでしたが、今回携わった工事では円柱形の建物や、R型の渡り廊下、環境負荷の軽減を配慮したポーラスコンクリート、内外装には木を多用したデザインが施され、とても温かみのある建物になりました。施工面においては構造がSRC造、S造の組み合わせで支保工足場などの仮設工事に苦労しました。元請職員はじめ、関係協力会社と連携し最後まで無事故無災害で完了することができました。今後も自己研鑽に励みつつ、若手の人材育成、技術・技能の継承を意識し指導にあたり仲間とともにチーム一丸となって、建設業の発展に貢献いたします。

